

平成 5 年 3 月 招 集

第 1 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（3月3日）

開 会	4
議長の報告	4
議案の配付	4
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
会議日程の決定	5
議案第1号～議案第34号（施政方針並びに提案理由の説明）	5
延 会	20
本日の会議に付した事件	20

◎第2号（3月10日）

開 議	24
行政一般通告質問	24
脇田 安保君の質問、当局の応答	24
辻田 実君の質問、当局の応答	41
神田 守隆君の質問、当局の応答	63
植木 馨君の質問、当局の応答	79
秋山 光章君の質問、当局の応答	92
延 会	110
本日の会議に付した事件	111

◎第3号（3月11日）

開 議	114
行政一般通告質問	114
鈴木 順子君の質問、当局の応答	114
鈴木 忠夫君の質問、当局の応答	128

齊藤 実君の質問、当局の応答	138
散 会	147
本日の会議に付した事件	147

◎第4号（3月15日）

開 議	151
議案第9号～議案第30号	151
辻田 実君の質疑、当局の応答	152
神田 守隆君の質疑、当局の応答	165
委員会付託	172
議案第31号～議案第34号	172
委員会付託	172
議長の報告	172
延 会	173
本日の会議に付した事件	173

◎第5号（3月16日）

開 議	176
議案第1号～議案第8号	176
永井 龍平君の質疑、当局の応答	176
神田 守隆君の質疑、当局の応答	181
辻田 実君の質疑、当局の応答	193
鈴木 順子君の質疑、当局の応答	213
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	224
延 会	225
本日の会議に付した事件	225

◎第6号（3月24日）

開 議	230
-----------	-----

議案第 9 号～議案第 20 号、議案第 31 号	230
総務委員会委員長報告	230
採決	233
議案第 21 号～議案第 28 号、議案第 32 号	233
文教民生委員会委員長報告	234
採決	235
議案第 29 号、議案第 30 号、議案第 33 号、議案第 34 号	235
建設経済委員会委員長報告	236
採決	237
継続審査について（請願第 8 号）	237
議長の報告	238
議案第 1 号～議案第 8 号	238
予算審査特別委員会委員長報告	238
辻田 実君の討論	244
日下 君敏君の討論	249
採決	250
館山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	251
閉 会	252
本日の会議に付した事件	252

第 1 回館山市議会定例会会議録

(第 1 号)

1 平成5年3月3日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1番 秋山 光章	2番 増田 基彦
3番 島田 保	4番 斉藤 実
5番 宮沢 治海	6番 植木 馨
7番 鈴木 順子	8番 永井 龍平
9番 脇田 安保	10番 庄司二三男
11番 山崎 雅己	12番 岩村 勝弘
13番 榎本 春光	14番 小宮 利夫
15番 山中金治郎	16番 鈴木 勝美
17番 鈴木 忠夫	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	20番 生稻 陞
21番 神田 守隆	22番 福原 勳
23番 石井 昌治	25番 流山源次郎
26番 辻田 実	27番 横溝 功
28番 飯田 義男	

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助役 小幡 清之
収入役 川上 義雄	市長公室長 永野 修
総務部長 斉藤 賢司	民生部長 佐藤 澄雄
経済部長 小沼 晃	建設部長 伊東 衛
水道課長 鈴木 信一	教育委員会 山田 教和
教育委員会 高橋 博夫	選挙管理委員会 加藤 利
選挙管理委員会 伊丹 三男	監査委員 鈴木 重司

監事 局長 島田 啓夫

農業委員会 会長 齊藤 明

農業委員会 局長 小倉 孝

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一

事務局長補佐 土橋 康彦

書記 鈴木 哲

書記 鈴木 修一

書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第1号）

平成5年3月3日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第 1号 平成5年度館山市一般会計予算

議案第 2号 平成5年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第 3号 平成5年度館山市老人保健特別会計予算

議案第 4号 平成5年度館山市ユースホテル特別会計予算

議案第 5号 平成5年度館山市学童災害共済事業特別会計予算

議案第 6号 平成5年度館山市下水道事業特別会計予算

議案第 7号 平成5年度館山市水道事業特別会計予算

議案第 8号 平成5年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

議案第 9号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第10号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第11号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

日程第 4

- 議案第 1 2 号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 1 3 号 館山市水田農業確立対策基金条例を廃止する条
例の制定について
- 議案第 1 4 号 新たに生じた土地の確認について
- 議案第 1 5 号 新たに生じた土地を市の区域内に編入すること
について
- 議案第 1 6 号 新たに生じた土地の確認について
- 議案第 1 7 号 新たに生じた土地を市の区域内に編入すること
について
- 議案第 1 8 号 財産の取得について
- 議案第 1 9 号 財産の無償譲渡について
- 議案第 2 0 号 損害賠償の額の決定及び和解について
- 議案第 2 1 号 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定
について
- 議案第 2 2 号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一
部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 3 号 館山市スポーツ振興審議会設置条例の制定につ
いて
- 議案第 2 4 号 館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に
関する条例の一部を改正する条例の制定につい
て
- 議案第 2 5 号 館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する
条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 6 号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例
の制定について
- 議案第 2 7 号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一
部を改正する条例の制定について
- 議案第 2 8 号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定

について

議案第29号 館山市農業協力員設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第30号 市道路線の認定及び変更について

議案第31号 平成4年度館山市一般会計補正予算（第5号）

議案第32号 平成4年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）

議案第33号 平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）

議案第34号 平成4年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）

開 会 午前10時02分

◎議長（福原 勤君） 本日の出席議員数27名、これより平成5年第1回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（福原 勤君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から定期監査並びに平成4年12月及び平成5年1月実施の監査結果、市長から地方自治法第180条の規定による専決処分が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（福原 勤君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（福原 勤君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

10番議員庄司二三男君、17番議員鈴木忠夫君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

◎議長（福原 勤君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営委員会の意見は本3月3日から3月24日までの22日間ということであります。

お諮りいたします。会期を22日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） ご異議なしと認めます。よって、会期は3月3日から3月24日までの22日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（福原 勤君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営委員会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長（福原 勤君） 日程第4、議案第1号乃至議案第34号の各議案を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

◎議長（福原 勤君） これより平成5年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 本日、ここに3月定例市議会を招集し、平成5年度の一般会計及び特別会計の予算案を初めとする諸議案等につきまして御審議をお願いするに当たり、新年度の市政運営の所信と施策の概要を申し述べ、議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

最近の我が国の経済は、引き続き低迷し、資産価格の下落もあり、厳しい状況に直面しております。このため、経常収支の動向等主要国との経済政策の協調にも配慮しながら、内需を中心としたインフレなき持続的な成長経路へ円滑に移行させることが当面の課題であり、今後、物価と雇用の安定を基礎とした適切かつ機動的な経済運営が求められております。

また、国の財政状況は依然として構造的な厳しさが続いており、加えて、税収動向についても厳しい状況が継続するものと見込まれ、平成5年度一般会計予算は、前年度比0.2%、地方財政計画につきましても同2.8%の低い伸び率となっております。

このような厳しい状況ではございますが、館山市を取り巻く現在の情勢は、東京湾横断道路及び東関東自動車道館山線の建設等広域幹線道路網の整備、地域の発展に不可欠な南房総広域水道企業団による水道用水供給事業の推進などビッグプロジェクトが進展しつつあり、これら時代の動き、時代の要請にこたえ得る創意工夫のある計画行政の推進こそが、今の館山市に求められている課題であると考えます。

このような認識のもとに、平成5年度の予算編成に当たりましては、市の基本構想で定められた将来都市像「活力ある文化福祉都市」実現を目指し、計画期間の中間となります第2期基本計画の着実な達成を基本方針に、引き続き目標を「地域活性化の推進」とし、各種施策の優先順位の厳しい選択の

中で、限られた財源の重点的、効率的な配分に配慮し編成いたしました。

具体的には、館山工業団地整備等の地域経済振興策、館山駅周辺市街地整備、道路交通網の整備、上水道・公共下水道整備などの都市基盤整備施策を重点に、高齢者対策等福祉の向上、生きがいを求める市民ニーズに対応した生涯学習対策等教育文化、スポーツの振興などの施策を計画的に推進してまいり所存でございます。

以下、主要施策につきまして、基本計画の施策体系に基づき順次御説明申し上げます。

第1は、快適でゆとりある生活環境都市づくりでございます。

都市は市民が住み、働き、憩う場であります。このため、道路・交通体系、上・下水道、公園等基本的な施設の充実を図り、自然と調和した、高い水準の都市機能を備えたまちづくりが、今日求められており、国・県等のビッグプロジェクトが進展する中、都市発展の基礎となる都市基盤整備を一步一步着実に進めることが快適でゆとりあるまちづくりにつながるものと、私は確信いたします。

まず、道路・交通体系についてでございますが、本年3月25日に国道127号館山バイパスが全線開通する見込みであります。今後とも関係機関に対して積極的に働きかけ、東京湾横断道路の完成に合わせた東関東自動車道館山線の早期実現を目指してまいります。また、広域幹線道路の受け皿として、館山白浜線バイパスの建設促進及びこれに接続いたします都市計画道路青柳大賀線の整備に努めてまいります。

一方、市民の日常生活に密着した生活道路や道路排水の整備要望にこたえるとともに、交通量の増大に対応した市道整備計画の推進を図り、市民の安全と居住環境の改善に努めてまいります。

市街地の整備についてでございますが、館山駅西口地区の土地区画整理事業につきましては、平成4年度末までに建物総数89棟のうち26棟が移転し、地区内に南欧風の建物も見られるようになりました。本年度も整備計画に沿った事業の推進に努めるとともに、館山駅東西の一体化につきましても東日本旅客鉄道株式会社などと協議をしながら進めてまいります。

館山駅東口地区の市街地整備事業につきましては、引き続き権利者の合意形成に努力してまいります。

さらに、都市計画法及び建築基準法の改正に伴う用途地域などの見直し調査を行います。

上水道整備でございますが、南房総広域水道企業団の水道用水供給事業の早期実現を目指すとともに、館山市水道第3次拡張事業、三芳水道企業団第2次拡張事業の推進を図ってまいります。

公共下水道事業につきましては、終末処理場「鏡ヶ浦クリーンセンター」の詳細設計の一部と污水管渠の測量・詳細設計等を実施してまいります。

都市下水路等の整備につきましては、那古下水路、新井排水路及び楠見1号排水路を継続して整備し、良好な居住環境創出を図るため、年次的、計画的に取り組んでまいります。

消防防災でございますが、消防組織及び消防装備の強化に努めるとともに、急傾斜地に指定されております那古山の崩壊防止工事に着手し、市民の安全確保を図ってまいります。

環境対策につきましては、河川海域の浄化対策を中心に総合的に取り組んでいるところでございますが、多くの市民の御協力を得て展開しております、クリーン・アンド・ビューティフル運動や合併処理浄化槽設置に対する補助等を継続して実施するとともに、排水路浄化施設整備につきましては、処理対象区域見直しに伴う基本方針及び整備計画の策定を行ってまいります。

公園・緑地につきましては、都市公園の施設整備に努めるとともに、引き続きウエルネスリゾートパーク計画の用地取得を進めてまいります。

第2は、温かい心の通う健康福祉都市づくりでございます。

すべての市民が生涯を通じて「こころ」と「からだ」の健康を保持し、快適で安心した生活を送ることができるような地域社会の形成を目指すとともに、人口の高齢化や核家族化が進行する中で、多様化する福祉ニーズを的確に把握し、健康・福祉施策の計画的推進に努めてまいります。

まず、健康づくりでございますが、いわゆる成人病を未然に防ぐための各種検診事業や健康教育、健康相談をきめ細かく実施していくのに加え、寝た

きを予防するため、新たに「集団リハビリ」事業を実施し、日常生活の自立と社会的交流の拡大を図ります。

スポーツ・レクリエーション施策についてでございますが、引き続き「若潮マラソン大会」や「全国若潮旗争奪高校剣道大会」等を開催するとともに、だれでも参加できるスポーツ教室の開設、学校体育施設の開放による社会体育の振興に努めてまいります。

また、本年度は第6回全国スポーツレクリエーション祭が千葉県を会場に開催され、本市も種目別大会として「館山鏡ヶ浦健康マラソン大会」を開催いたします。

さらに、スポーツ振興審議会を設置し、スポーツ施設の整備、指導者の養成に努めるとともに、生涯スポーツの振興を図ってまいります。

次に、市民福祉でございますが、ますます多様化する福祉ニーズにこたえるため、社会福祉協議会と連携したボランティア活動、地域ぐるみ福祉活動のより一層の充実を図るとともに、地域福祉基金の活用を推進してまいります。

特に、高齢者福祉につきましては、高齢者のニーズに対応した保健福祉サービスの提供体制を計画的に整備するため「老人保健福祉計画」を作成するとともに、館山特別養護老人ホームに併設して「デイサービスセンター」を建設し、関係機関と連携して事業の推進に努めてまいります。

さらに、公的年金受給権者の負担軽減を図るため、「年金現況届」証明手数料を本年度から無料といたします。

児童福祉につきましては、老朽化に伴い館野保育園を改築するほか、保育園施設の整備に努めてまいります。

第3は、地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくりでございます。

個性ある人間性豊かな地域社会は、市民の自主性と創造力によって初めてつくられるものであり、学校教育、社会教育、芸術文化などの教育機会が生涯を通して提供されるよう努めてまいります。

学校教育でございますが、学校施設の老朽化に対応した年次的整備計画に

より、九重小学校校庭、第二中学校柔剣道場、館山小学校校舎及び屋内運動場を整備し、教育環境の充実に努めてまいります。

また、幼稚園教育の充実を図るとともに、国際化社会へ対応した国際理解教育推進のため外国人教師を継続して配置いたします。

社会教育につきましては、市民の多様な学習ニーズに対応した施策の展開を図るとともに、社会教育関係団体等の育成に努めてまいります。

婦人会館についてでございますが、建物の老朽化に伴い、改築を希望する声が多く、これら多数の市民の要請を受け、生きがいくりの拠点として、中央地区学習等供用施設の建設に着手いたします。

次に、豊かな文化の創造でございますが、南房総館山のイベントとして定着しております「南房総フィエスタ」、「薪能」の継続開催と文化団体等の活性化に努め、芸術・文化に触れる機会拡大を図るとともに、県当局と連携し、県立地域文化ホールの早期建設に努めてまいります。

国際交流でございますが、姉妹都市を中心としたスポーツ・文化交流に努めるとともに、市民レベルの国際交流を進めるための市民組織「国際交流協会」の結成に努めてまいります。

第4は、創造力と活力に満ちた産業都市づくりでございます。

館山市の魅力ある資源であります恵まれた自然環境を基調として、各種産業の基盤整備、経営の近代化促進等、地域に根差した多様な産業の振興に努めてまいります。

まず、農業でございますが、基盤整備としての沼地区土地改良事業の推進に努めるとともに、農業経営の合理化と農作業の効率化を図るため、農道、排水路等の土地改良事業を各地区で推進してまいります。

また、近代化対策といたしまして、新たに、本市園芸の生産性の向上を積極的に推進する園芸生産施設化促進事業と栽培適地の拡大及び早期出荷を目指す果樹産地高度化事業に対して助成してまいります。

さらに、長い間懸案となっております家畜ふん尿対策につきましては、館山市畜産環境保全組合に対し畜産農家の組織化、集団化による合理的な家畜ふん尿の処理・利用の促進を図るための助成をいたします。

水産業でございますが、種苗放流事業等のつくり育てる漁業の定着を図るとともに、引き続き漁業協同組合の合併促進に努め、経営基盤の強化充実を図るべく努力してまいります。

漁港整備につきましては、船形、富崎及び栄の浦漁港の整備を図るほか、運搬、給油等の関連施設整備に努めます。

商工業につきましては、その総合的な改善、発展のため商工会議所の事業に助成するとともに、消費者ニーズに対応した魅力ある商店街の形成を目指し、商店会連合会等への助成や、商店会の組織強化、育成及び近代化に努めるほか、経営の合理化と安定化を図るための融資や利子補給を実施してまいります。

一方、働く場の確保と地域経済振興の核として期待されます「館山工業団地」につきましては、関連事業の推進に努め、早期実現に向け努力してまいります。

また、海洋性リゾートタウン計画では、房総リゾート地域整備構想に基づき、自然環境との調和に配慮した、地域経済への波及効果が見込まれる高質なリゾート地の実現に努めてまいります。

観光についてでございますが、本市にとって貴重な観光資源である海岸の美化やフラワーライン等の沿道花壇の整備など、道路環境整備を図るほか、館山市観光振興実施計画の推進を図り、国・県等と連携し観光振興に努めてまいります。

北条海岸整備につきましては、三軒町休憩所のトイレを周辺施設に合わせて整備し、館山駅西口地区と一体となった南欧風の景観づくりを推進するほか、新たに、モデル事業として西岬地区内の南欧風バス待合施設整備に対し助成し、海洋性リゾートタウン館山のイメージづくりに努めてまいります。

第5は、自立と連帯で築くコミュニティ都市づくりでございます。

市民と行政が一体となった市民参加のまちづくりと人間性あふれる温かな地域社会の形成を基調としたコミュニティづくりの推進に努めてまいります。

広報活動につきましては、広報「だん暖たてやま」、グラフ誌「ルックたてやま」のより一層の充実を図り、市政の情報を積極的に提供するほか、本

市の情報を総合的かつ的確に発信する手段として「館山市市勢要覧」を作成いたします。

コミュニティ施策につきましては市民の主体的な活動が行われるための条件づくり、場づくりを目指し、コミュニティ集会施設等を整備するとともに、地域活動への助成や人材育成基金を活用した地域リーダーの育成を図ります。

また、住みよい環境づくりを目標に、市民総参加の運動として展開しております「クリーン・アンド・ビューティフル運動」の推進に努めてまいります。

最後に、土曜閉庁についてでございますが、既に国を初めとして、県・市町村の多くがすべての土曜日は休日となっております。館山市も平成5年4月3日の土曜日から、県下の市町村と同様、一部の施設を除いて週休2日制を実施いたしますが、「館山メール」や「市民れんらく便」のほか、新たに、住民票などの「電話予約制度」を導入し市民サービスの向上に努めてまいります。

以上申し上げました諸施策を遂行するための財源につきましては、社会経済情勢や国・県の予算編成の動向、地方財政計画、本市の現状及び過去の収入実績などを十分配慮し計上いたしました。その結果、平成5年度館山市一般会計歳入歳出予算の総額は、156億2,800万円となり、前年度予算に対し、12億600万円、8.4%の増となっております。

次に、債務負担行為といたしまして、都市計画用途地域等見直し調査委託料、ウェルネスリゾートパーク用地取得事業及び中央地区学習等供用施設建設事業につきまして設定いたしました。地方債といたしまして、上水道事業、海水浴場施設整備事業、道路整備事業など9件を予定し、一時借入金につきましては、最高額を15億円といたしました。

以上が議案第1号の概要でございますが、次に、議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号平成5年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出につきまして、医療費及び老人保健拠出金の過去の実績等を考慮するとともに、人件費を一般会計に計上し、歳入につきまして、一般会計か

ら所要の繰り入れ措置を講じ、その結果、歳入歳出それぞれ32億 8,276万余円を計上いたしました。

次に、議案第3号平成5年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療費の過去の実績等を勘案し、一般会計からの繰入金1億 9,587万円を含めまして、歳入歳出それぞれ38億 6,358万円を計上いたしました。

次に、議案第4号平成5年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ 2,720万余円を計上いたしました。

次に、議案第5号平成5年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ 227万余円を計上いたしました。

次に、議案第6号平成5年度館山市下水道事業特別会計予算でございますが、一般会計からの繰入金2億 9,298万円を含めまして、歳入歳出それぞれ14億 5,246万余円を計上いたしました。また、地方債といたしまして、終末処理場詳細設計委託料等の下水道事業につきまして設定いたしました。

次に、議案第7号平成5年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、水道料、受託工事収益等で7億 3,606万余円、収益的支出といたしまして、営業費用、企業債利息等で7億 2,706万余円、また、資本的収入といたしまして、企業債、国庫補助金及び一般会計からの出資金等で8億 7,122万余円、資本的支出といたしまして、第3次拡張事業等に伴う建設改良費及び企業債償還金等で9億 2,349万余円を計上いたしました。

次に、議案第8号平成5年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料、食事料等で2億 1,262万余円、収益的支出といたしまして、宿舎経営費等営業費用及び支払利息等で2億 1,228万余円、資本的支出といたしまして、器具及び備品購入費等の建設改良費及び企業債償還金等で 1,541万余円を計上いたしました。

以上、各会計の平成5年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、一般会計及び特別会計予算総額は、261億 3,455万円でございます。

次に、議案第9号館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定に

ついてでございますが、各附属機関の委員の構成及び定数について、県下各市の状況並びに近隣の町村を調査し種々検討した結果、委員の構成と定数につきまして一部を改正しようとするものでございます。

次に、議案第10号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の報酬額は平成4年4月に改定されたものでございますが、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去の改定経緯等を考慮いたしまして、市議会議員に関する報酬額につきましては、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、この答申を尊重し、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。また、各種行政委員会の委員及びその他の特別職の報酬額につきましても、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第11号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昨年4月に改定いたしました現行の給料額につきまして、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去における給料額改定の経緯等を考慮いたしまして、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第12号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回、収入役の給料と同額にしようとするものでございます。

次に、議案第13号館山市水田農業確立対策基金条例を廃止する条例の制定についてでございますが、平成2年3月本基金設置により、水田農業確立特別交付金の有効かつ計画的な使用による水田農業確立後期対策の円滑な推進が図られましたが、平成4年度、後期対策の終了に伴い本条例を廃止するものでございます。

次に、議案第14号新たに生じた土地の確認についてでございますが、平成4年12月28日付千葉県知事から公有水面埋め立てにより、新たに生じた土地の確認及び字の区域の画定について依頼がありましたので、地方自治法第9

条の5第1項の規定により、館山市船形字新港1451番の3地先の公有水面埋立地9,118.22平方メートルの土地について、市の区域内に新たに生じた土地として確認の上、千葉県知事に届け出ようとするものでございます。

次に、議案第15号新たに生じた土地を市の区域内に編入することについてでございますが、議案第14号をもって新たに生じた土地の確認をお願いいたしました、館山市船形字新港1451番の3地先の公有水面埋立地9,118.22平方メートルの区域を地方自治法第260条第1項の規定により、館山市船形字小浜に編入の上、千葉県知事に届け出ようとするものでございます。

次に、議案第16号新たに生じた土地の確認についてでございますが、平成4年12月28日付千葉県知事から公有水面埋め立てにより、新たに生じた土地の確認及び字の区域の画定について依頼がありましたので、地方自治法第9条の5第1項の規定により、館山市相浜地先の公有水面埋立地4,444.84平方メートルの土地について、市の区域内に新たに生じた土地として確認の上、千葉県知事に届け出ようとするものでございます。

次に、議案第17号新たに生じた土地を市の区域内に編入することについてでございますが、議案第16号をもって新たに生じた土地の確認をお願いいたしました、館山市相浜地先の公有水面埋立地4,444.84平方メートルの区域を地方自治法第260条第1項の規定により、館山市相浜字香取に編入の上、千葉県知事に届け出ようとするものでございます。

次に、議案第18号財産の取得についてでございますが、ウエルネスリゾートパーク計画用地につきましては、千葉県地方土地開発公社に対して用地の先行取得を委託し、館山市において地権者と交渉を重ねてまいりましたが、平成4年度に千葉県地方土地開発公社が取得した用地について、市が買い取りをしようとするものでございます。取得場所は、館山市茂名字星谷302番の2ほか192筆、面積は10万6,498.86平方メートルで、予定価格4億1,991万6,263円をもって千葉県地方土地開発公社から取得しようとするものでございます。

次に、議案第19号財産の無償譲渡についてでございますが、本議案は、議案第27号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の

制定についてと関連がございますが、設置後20年を経過した4青年館を地元に無償譲渡しようとするため、地方自治法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第20号損害賠償の額の決定及び和解についてでございますが、平成4年7月27日、館山市八幡822番地先市道におきまして、公務中の市有自動車の衝突により損害を与えた事故に係る損害賠償について協議が調いましたので、これが額の決定及び和解につきまして議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第21号館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、公的年金受給権者の生存に関する証明手数料につきまして、公的年金受給権者の負担の軽減を図るため無料にしようとするものでございます。

次に、議案第22号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、他の特別職の職員と同様、本年4月1日から手当額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第23号館山市スポーツ振興審議会設置条例の制定についてでございますが、スポーツ施設の整備、指導者の養成その他スポーツの振興を図ることを目的とし、本市にスポーツ振興法の規定に基づき、スポーツ振興審議会を設置しようとするものでございます。

次に、議案第24号館山市身体障害者ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、身体障害者福祉法の規定に基づき、国が策定した事業運営要綱の一部改正に伴い条例の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第25号館山市老人ホームヘルプサービス事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、老人福祉法の規定に基づき、国が策定した事業運営要綱の一部改正に伴い条例の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第26号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国民健康保険の被保険者の死亡に係る葬祭費につき

まして、現行の5万円を10万円に引き上げようとするものでございます。

次に、議案第27号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、設置後20年を経過した4青年館につきまして、これを廃止し、多面的な利用を図るため、地域のコミュニティ集会施設として地元に払い下げしようとするものでございます。

次に、議案第28号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、団員の報酬額及び費用弁償額につきまして、県内各市及び近隣町村との均衡等を考慮いたしまして、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第29号館山市農業協力員設置条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これは、非常勤特別職の一連の報酬改定に伴い改正するもので報酬額を2万2,000円以内に改めようとするものでございます。

次に、議案第30号市道路線の認定及び変更についてでございますが、市道338号線ほか3路線を認定し、市道278号線ほか3路線を変更しようとするものでございます。

次に、議案第31号平成4年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ5億8,413万3,000円を減額し、総額148億2,079万2,000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、民生費では、老人ホーム入所措置扶助費で、措置費単価の改定及び措置人員の増によりまして1,197万9,000円、老人保健特別会計繰出金で8,200万6,000円、これは、老人医療費に伴う支払基金交付金及び国・県負担金の交付が一部翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするものでございます。農林水産業費では、船形漁港修築工事負担金で、事業費の増によりまして400万円、土木費では、館山港修築工事負担金で、事業費の変更に伴いまして334万7,000円、ウェルネスリゾートパーク用地取得事務手数料で338万3,000円、これは、千葉県地方土地開発公社へ委託した用地の先行取得に係る事務手数料を支払うものでございます。また、下水道事業特別会計への繰出金で388万1,000円、

教育費では、造形作品購入費で 500 万円、これは、文化振興基金でコミュニティセンター敷地内に設置し保有している造形作品一基を購入しようとするものでございます。諸支出金では、土地開発基金繰出金で 512 万 5,000 円、これは、基金の運用利子の増によるものでございます。

次に、歳出予算の減額の主なものといたしましては、議会費では、議員報酬で 408 万 3,000 円、総務費では、減債基金積立金で、基金の運用利子の減によりまして 717 万 4,000 円、衛生費では、南房総広域水道企業団出資金で 2 億 2,150 万円、水道事業特別会計第 3 次拡張事業出資金で 2 億 3,658 万 7,000 円、三芳水道企業団第 2 次拡張事業出資金で 8,702 万 7,000 円、これは、それぞれの水道事業体の事業費の変更に伴い、出資金を減額するものでございます。農林水産業費では、流通等改善施設整備事業補助金で、事業費の減によりまして 1,557 万 2,000 円、土木費では、県道改良等工事負担金で、事業費の変更に伴いまして 2,965 万 6,000 円、ウエルネスリゾートパーク用地購入費で 2,067 万 2,000 円、これは、千葉県地方土地開発公社へ委託した用地の先行取得面積の減少に伴い、本年度の支払利子等を減額するものでございます。また、市街地整備用地購入費で、地区外への転出希望者との交渉不調によりまして 1,078 万 2,000 円、消防費では、消火栓新設等負担金で、設置数の減によりまして 767 万 6,000 円、公債費では、地方債利子で、借入利率及び借入日の変更等によりまして 749 万 6,000 円、諸支出金では、財政調整基金積立金で 1,438 万 2,000 円、これは、基金の運用利子の減によるものでございます。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの財源補正といたしまして、地方交付税及び国庫支出金等を追加し、利子割交付金、繰入金、諸収入及び市債等を減額しようとするものでございます。

このほかに、市道 8011 号線道路改良工事につきまして、一部年度内の完了が困難となりましたので、繰越明許費の設定、ウエルネスリゾートパーク用地取得事業の限度額の変更につきまして、債務負担行為の補正、また、温水プール改修事業を初め 8 事業につきまして、地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第32号平成4年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ4,027万9,000円を追加し、総額35億7,150万6,000円としようとするものでございます。

主な歳出といたしましては、医療費の増によりまして、医療給付費で3,917万6,000円、受診件数の増によりまして、医療費支給費で152万3,000円それぞれ増額となりますので、これらの補正財源といたしまして、一般会計からの繰入金等をもって充当しようとするものでございます。

次に、議案第33号平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ365万1,000円を追加し、総額2億4,246万8,000円としようとするものでございます。

歳出といたしましては、千葉県地方土地開発公社へ委託した終末処理場用地の先行取得に係る事務手数料365万1,000円を追加し、この補正財源といたしまして、一般会計からの繰入金等をもって充当しようとするものでございます。

このほかに、下水道事業につきまして、地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第34号平成4年度館山市水道事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、収益的支出といたしまして、消費税931万1,000円を追加し、総額7億2,385万7,000円、また、資本的収入及び支出をそれぞれ6億4,265万円減額し、資本的収入の総額を2億8,588万8,000円、資本的支出の総額を3億9,455万7,000円としようとするものでございます。

資本的収入の内容といたしましては、第3次拡張事業費の国庫補助金の採択額の減によりまして、企業債で1億6,180万円、国庫補助金で2億3,658万7,000円、一般会計出資金で2億3,658万7,000円それぞれ減額するとともに、工事量の減によりまして、一般会計からの消火栓新設工事負担金767万6,000円もあわせて減額するものでございます。また、資本的支出の主な内容といたしましては、収入と同様、採択額の減によりまして、拡張事業施

工管理業務等の委託料で 109万 6,000円、道路本復旧等の工事負担金で 1億 2,597万 5,000円、配水管布設等の水道施設拡張工事請負費で 5億 1,557万 9,000円それぞれ減額するものでございます。

このほかに、水道拡張事業につきまして、企業債の補正をお願いするものでございます。

以上、私の所信及び諸議案の御説明をいたしました。今後とも、第2期基本計画に掲げた事業の着実な達成を基本方針とし、「活力ある文化福祉都市」の実現を目指して努力してまいり所存でございます。

議員各位並びに市民の皆様の一層の御理解、御協力を切にお願い申し上げる次第でございます。

なお、詳細につきましては、御質問に応じ、私または事務担当者からお答えいたしたいと存じますので、よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。

以上でございます。

◎議長（福原 勤君） 以上で施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時52分

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） ご異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明4日から9日まで議案調査のため休会、次会は3月10日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

◎本日の会議に付した事件

1 会議録署名議員の指名

1 会期の決定

1 会議日程の決定

1 議案第1号乃至議案第34号

